

傳藤原行成 関石本古今集 天

301
10

帙入

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始





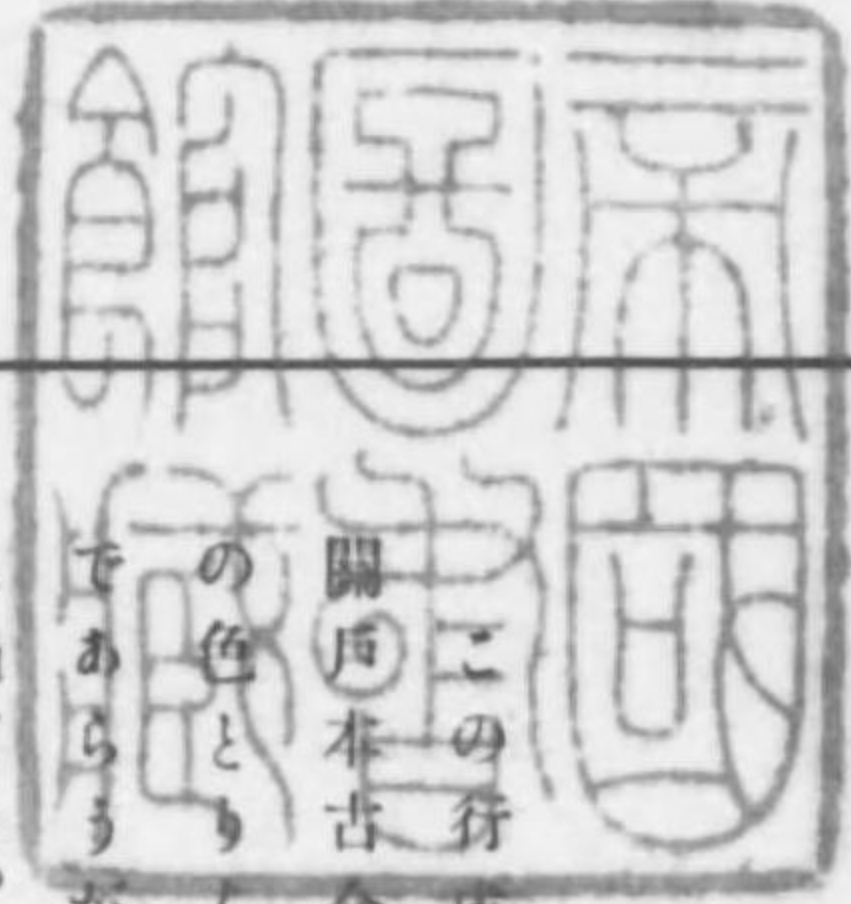
傳藤原行成書

關戶本古今集

釋文

天

30/10

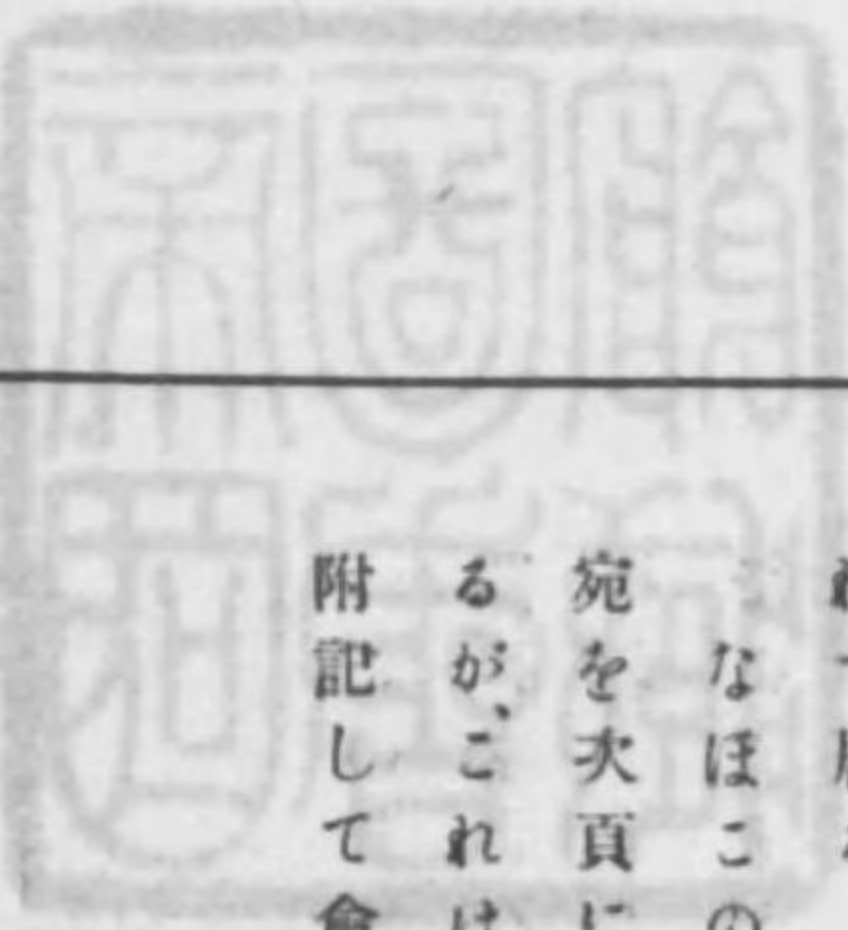


傳藤原
行成筆 關戸本古今集 (天) 解題並釋文

解題

この行成筆と傳へられる古今集は、名古屋關戸家藏の爲めに一般に關戸本古今と名づけられて居り、料紙は烏の子紙で、白紫、縹、朽葉、黄などの色とも、のもの、胡蝶綴のもの、曾つは古今集全部を書いたものであらうが、今は散逸して居て現存するもの僅かに四十八枚、九十六頁に過ぎぬ。従つて古今和歌集二十巻もとび／＼に、且つ巻中の歌も全部見る事は出来ぬ。

この書風を見るに、寸松庵色紙の書風と相似の點が多いと云はれ、運筆は暢達、聊の凝滞する所を見ず、誠に宛轉自在であり、變化の妙を極め



て居るが、なほ且つ骨力を藏して居る點現代假名の好書範として推重
さるべきものである。

この集の散逸せるものと思はれるものが原家、岡谷家に數葉所藏さ
れて居る。

なほこの集は文字を原寸にて印刷に付する爲め、原帖の頁の一二行
宛を次頁に送つて行つたから、頁數からは原帖とは可成りの増加にな
るが、これは出来るだけ原帖の面影を留める爲めの苦心の結果である。
附記して會員諸賢の御諒承を乞ふ次第である。

關戸本古今集(天)釋史

(第一卷)

はる可^がす三^{みつ}多^たつを見春^{はる}て、行

か利^りは、な、支^しさと爾^に須^すみやな
らへ流^る

多^たい志^しら春^{はる}よ三^{みつ}人^{にん}し羅^ら春^{はる}

を利^りつれ盤^{ばん}處^ちでこ曾^そ爾^に本^{ほん}へ無^く

めの花^{はな}あ利^りとやこ、爾^に有^あ俱^ぐひ寸^{すん}

のな九^く

いろよ利^り裳^{しやう}可^かこ曾^そあ者^{もの}れ爾^に面^{めん}吠^{はい}れ
堂^{だう}可^か處^ちで婦^ふ連^{れん}しやどのむめ所^{しよ}毛^{もう}

やど遅可くうめの花う衛じあぢ
きな九待人の香爾あや萬たれ
遣李

梅の花立依者可利あ利し萬に人
のと可無流香に曾志見ぬ累

むめの花を、利てよめ流

東三條の右大臣

有九飛數農可乍爾ぬ不て布無

面農花を利て可佐、む老可く流やと

堂以志良數 素性法師

與處爾農微惡は連と曾みし

无めの花あかぬいろ可はを利て

な利个り

むめの花を、利てひと爾お九利
ける

東毛の梨

支みならで多れ爾可みせむ、めの
者那移ろ乎毛可をもしろ人所

志流

暗ぶ山爾てよめる

貫之

無めの花匂春邊は九らぶ山や三

爾こゆれどし流く曾あ利个

流

月夜爾无めの花を、利てと

ひとのいひ遣れ盤をるとて

月夜爾はをれど毛三みつ要春無な
免農花香をたづ年て處し

るべ可利个る
八るの夜無めの花乎よめ類
春夜農暗者阿やな志むめの花いろ
こそ三よ要福可やは閑九るゝ

はつせへまうで个ること爾やど
利个るひとの伊へ爾ひさし九
やどらでほどへてのちに多禮り
遣れ盤かのあるじか久さ堂可
爾奈無やど利は阿るといひい多し
た利个れ者處こ爾たて利

ける無めの花を、利てよみ个る
つらゆ幾

ひとはいざ心毛不知无めの花はな
曾むかしの香爾、本ひ遣累

水の邊爾むめの花のさ个利希
る乎よめ流

春ごと爾な可る、閑盤乎はなと
い勢

三てをられぬ見づ爾曾でや
ぬ連な無
東しを邊て花の可々みとなる
水盤ち利かゝるをや久もるといふ
ら無

いへ爾あ利个る無免の花の遅
利个る乎よめる

つらゆ起

九流とあ久とめ可連ぬ毛の乎无め
の花いつの人万爾うつろひ爾希
む

寛平の御時のきさいの宮のう多

阿者せ能う堂

夜微飛東不知

梅ノ香ヲ袖爾移シテ留メテハ春ハ

過トモ可多三ならまし

所せい

散ト見テあ流べき毛の乎むめの花

有堂て爾ほひの處で爾と万連流
たい志良須よ三人志ら春
ち利ぬと毛閑を多爾のこせ无め(はも)の
花古遊し起と支の於毛ひいで
爾せむ

ひとのいへ爾有衛多利个る佐久らの
はなさ支者じめた利个るをみ
てよみ个る

つらゆ起

古登志よ利者る志利曾無流

さくらばなちるて布ことは奈ら

者佐らな无

たい志ら春よ三ひと志ら春

やま多可みひとすさめぬ佐九ら八
 ない堂久な王び曾われみ八や佐む
 又者佐と々本み悲と毛須さめぬ
 山さ久らと毛
 山佐九羅む可み爾九れ盤る可須三
 み年爾毛をに裳多ち可くし徒々
 處めどの、支佐支のおまへ爾花
 可め爾さくらの花を
 佐せる乎見てよめる
 さきの於本い萬うち支三
 東し布禮盤よ者悲はおいぬし
 閑盤あ連ど花をし三れ盤
 毛の於もひ裳なし

なき佐の院爾てさくらの花を
 三てよめる
 あ利者らのな利ひらの阿曾む
 よの那可爾多衣てさ久らの散か
 さら八るのころはのど个可らま
 し
 たい志ら春よ三飛と志ら須
 い志者し流多きな久もか毛さく
 ら者那を利て毛てこむみぬ人
 の多め
 や万のさ久らをみてよめる
 所勢意
 見ての三や人爾可堂ら無佐くら

者^そ那^なて^てご^と爾^にを^り利^てい^へ徒^つと^爾
せ^む

は^なの^さ可^か利^り爾^に京^を見^や利^て

よ^める

見^わ多^せ八^やな^支さ^九ら^をこ^支万^せ
て^宮こ^會は^るの^爾し^きな^利个^流

さ^くら^のは^なの^もと^爾て^東

志^しお^いぬ^るこ^とを^な个^支て

よ^める

と^もの^里

い^路裳^可も^お奈^しひ^かし^爾さ^九
羅^面ど^と志^ふる^人會^あら^多ま^利ける

を^れる^佐久^らを^よめ^る
つ^らゆ^支
た^れし^かも^とめ^てを^利つ^るは^る
か^寸三^多ち^可く^須ら^ん山^のさ^く
ら^を

う^多て^まつ^れと^於本^せら^れ

志^しと^支に^よみ^て多^てま^つれ^る

さ^くら^ばな^さ支^に个^らし^毛あ

志^しび^きの^や万^の可^ひよ^利み^ゆる^し

ら^く毛

寛^平の^御と^支の^支佐^いの^宮の^う
多^あ者^せの^う堂

と^もの^利

みよしのゝや万べ爾佐希流さく
ら者なゆき可との三所あやまたれ

(第三卷夏歌)

寛平の御ときゝさいの宮の
歌合能う堂

と裳の利

さみ多れ爾毛の於もひ乎れ盤
本と支須よふかくな支てい
づちゆ久ら無
よや久ら支みちや万どへる本と

ぎ春わ可やど乎し毛須支可て爾
なく

つらゆ支

なつの夜能ふ春可と須れ盤本と
ゝぎ春な久ひとこゑ爾あ久流し
のゝ免

壬生忠岑

く流ゝかともみれ盤あ介ぬるな
徒の夜をあ可須とやなく山本と
ゝ支春

支のあき三ね

な徒山爾こひ志支ひとやい利に
遣無こ衛ふ利多てゝなく本と

ぎ春

よみ飛と志ら春

こ會農那徒な支ふるし天し
保と、支春所れ可あらぬ可こ衛
の可者らぬ

本と、支須の那九を支てよ
める つらゆき

さみ堂れの處らも東さろ爾ほ
と、支春なに乎有志とかよ多

那九らん

さぶらひ爾をのこと震佐希多
うべ个るにめして本と、支
春万つう堂よめとあ利个れ

盤よめる

おふ志可うぢの身恒

ほと、支須こゑ毛支こ要須あ万ひ
こ者保可爾な九ねをこ堂へやは
勢ぬ

や万に本と、支春のな支个る乎
きとてよめ流

つらゆ起

本と、支須悲とま徒やまに奈九
奈れ盤む速有遅徒遺爾こひ

萬散利个利

者や九須三个るところ爾て
本と、支春のなき个るを支

ゝてよめ流

堂々み年

むかし邊やいま裳こひ志起本
とゞぎ春ふる佐と爾し毛那
きて支つらん

ほとゝ支春のなき个るを支
ゝてよめる

身恒

本とゝ支春我と盤なしにう
の花能有起よの那可爾那支わ
堂流可那

者ち春の者那能露を見て
よみ个る

僧正遍昭

者ち須盤の爾ご利爾しまぬ
こゝろもてなど可はつゆを堂万
とあざ無九

つきのお裳しろ可利个る夜

曉方爾よみ个る

夏夜盤ま堂よひな可らあ个ぬ
流を雲のいづこ爾徒きやどる
覽

とな利よりとこなつの花を
こひ爾おこせ多利希連は乎
志見てこのう堂をよみて
や利个類

身恒

遅利乎多爾須^レ急^レと曾^レおもふ
散起しよりの登^レわ可^レぬ累

東こ那つの花

六月のつごも利の日よめる

なつとあき登^レゆき可^レふ所らの可^レ

よひ遅はか多へ春とし支^レかせやふ

九らん

卷第四

秋歌上

あき能^レ堂徒^レ日よめる

不^レち者^レらのとしゆきの阿曾^レ無^レ

阿きぬと免^レ爾はさや可^レ爾み

要^レ年登^レ裳可^レぜのおと爾曾^レおど

ろかれぬ累

あき堂徒^レ日^レうへの乎能^レこども

のか毛可^レはら爾可^レはせうよう

志^レ介^レるとも爾^レまか利^レてよめる

きのつらゆ起

か者可^かぜの須^す志^しくも阿^あるかうち
よ須^するなみと^とも爾^にやあき盤^{ばん}
たつらむ
多^たいしら春^{はる}よ三人^{さん}しら須^す
わがせこ可^かころ裳^もの春^{はる}會^{あひ}をふ
き可^かへしうらめづらし支^し秋^{あき}の
者^{もの}はつ可^かぜ
昨^{きのう}こ會^{あひ}佐^{たけ}奈^なへと利^りし可^かいつの万^ま
爾^にいな者^{もの}も會^{あひ}よとあきかぜのふ
九^く
秋^{あき}風のふ支^し爾^にし日^ひよ利^り悲^{かな}佐^{たけ}可^か多^た
のあ万^まの可^かはなみ堂^{どう}、ぬ日^ひ者^{もの}那^な
志^し

ひさ可^か堂^{どう}の阿^あまの可^かはらのわたし
毛^け利^りきみわ多^た利^りな盤^{ばん}かち可^か久^くして
あまの可^か者^{もの}もみちを者^{もの}し爾^にわ多^たせ八^{はち}
や堂^{どう}な者^{もの}多^たつめのお支^しをし毛^け万^ま徒^た
こひく^くてあふよ者^{もの}こよひあまの可^か八^{はち}
支^し利^り多^たちこめてあ个^こ春^{はる}も阿^あらなん
寛^{かん}平^{へい}の御^ごと支^しに七日^{しちじつ}の夜^ようへ
爾^にさぶら布^ふをのこどもにうた
ゝて萬^{まん}つれとお本^{ほん}せられ个^こる
とき悲^{かな}と爾^に可^かは利^りてよめる
阿^あまの可^かはあさせ志^しらな見^み多^た
き^きのとも能^の里^り

利つゝわ多利者てね盤あ个所し
爾遣類

お奈じ御とき支佐いの宮
のう堂阿者せ能う堂

不ち者らのおき可せ

ちき利个むこゝろ所つら支多

な者多のとし爾ひと堂びあ

不はあふ可者

七日夜ゝめる

おふしかうちのみつ年

東しごと爾あふとは春れど多な

者多のぬるよの可春者春久那

か利个る

堂な者堂にかしつるいとのうち
者へて東しの乎那可久こひや
わ多らむ

多以志ら春 素性法師

こ夜ひこむ人にはあはじたな

ばたのひさしきほどにまちも

こそすれ

なぬ可の夜能曉爾よめ類

みなもとのむねゆき

いま者としてわ可るゝと支者あまの可

盤わ多らぬさきにそでぞひぢ

ぬる



昭和十年二月二十日印刷
 昭和十年二月廿五日發行
 定價金貳圓參拾錢

東京市下谷區中根原町七二 武田墨彩堂
 編輯者 かな名蹟全集刊行會
 代表者 武田基一
 東京市下谷區中根原町七二
 發行人 武田基一
 東京市下谷區中根原町七二
 印刷人 黒川秀藏
 東京市下谷區中根原町七二

發行所 武田墨彩堂
 電話 根原三三七番
 東京市下谷區中根原町七二
 郵便 東京六〇五四八番

おのれをいふは
かたじけなく
まじき
まじき

極の死立依も有り

のこころは

むの死立依

赤心集のた

う九死教

何事死を

昔々良教 東信法師

うさふさふは
人の死あ

なみち

ごめの糸をよめていじりよめたる

し

糸の糸

よみたるをよめていじりよめたる

よめたるをよめていじりよめたる

よめ

情ふらふてよめたる

情ふらふ

ごめの糸をよめていじりよめたる

よめたるをよめていじりよめたる

15.

月夜よりの糸をよめていじりよめたる

おのれをたもてて

か

月夜をたもてて

花をたもてて

おのれをたもてて

花をたもてて

おのれをたもてて

わがまゝにのさばる

まがらふまがらふしきたのこ、
Fusion
はらへ、
Fusion
Fusion

うた

こころあきらむるせりたのたのま
まがらふまがらふ

うた

たはらあともこころあきらむるまがらふ
のたのまがらふ
む

まがらふまがらふ
まがらふまがらふ

あはれなき

梅ノ香ジ袖ヨ移シテ留メテハ春ハ

過トモウコトナラシ

心せ

散ト見テあはれなきこのよむよめの花

うらみこころけひるやうらみ

もは

たはら

あはれなき

ちあゝあゝとほろほろと涙を流して
泣く泣くと泣き止まぬ
よき世

はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ

はるかにあけぬ

はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ

はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ

はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ
はるかにあけぬ

Handwritten text in a cursive script, possibly a form or document, written on a piece of paper pasted into a notebook. The text is arranged in several lines and includes various symbols and characters, including what appears to be a signature or name at the bottom. The script is dense and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a date or a small note.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text, possibly a name.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

5.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text, possibly a name.

Handwritten text, possibly a name.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text, possibly a name.

1. The first part of the system
is the most important part
of the system.

The second part of the system
is the most important part
of the system.

The third part of the system
is the most important part
of the system.

The fourth part of the system
is the most important part
of the system.

The fifth part of the system
is the most important part
of the system.

The sixth part of the system
is the most important part
of the system.

此の事
是の事
是の事

是の事

是の事

是の事

是の事

是の事

是の事

Handwritten signature or name at the top of the page.

Handwritten text in cursive script, appearing to be a list or series of notes.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text, possibly a small note or separator.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text, possibly a small note or separator.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text in Arabic script, likely a title or header.

Handwritten text in Arabic script, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text in Arabic script, part of a larger passage.

Handwritten text in Arabic script, part of a larger passage.

Handwritten text in Arabic script, part of a larger passage.

Handwritten text in Arabic script, possibly a small note or separator.

Handwritten text in Arabic script, part of a larger passage.

Handwritten text in Arabic script, part of a larger passage.

Handwritten text in Arabic script, possibly a signature or a specific name.

Handwritten text in Arabic script, part of a larger passage.

Handwritten text in Arabic script, possibly a title or a specific reference.

1840

John C. ...

...

...

...

...

...

...

九十九
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~


海の神

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


書留書

行書上

あふはをけしりもあふ

るるるるるるるるるるるる

あふはをけしりもあふ

あふはをけしりもあふ

あふはをけしりもあふ

あふはをけしりもあふ

あふはをけしりもあふ

あふはをけしりもあふ

Handwritten signature or name.

Handwritten text, possibly a date or address, including the word "February".

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten character, possibly a numeral "九".

Handwritten text, possibly a name or title.

reformation

the first of the year

the first of the year

the first of the year

the first of the year

the first of the year

the first of the year

the first of the year

the first of the year

the first of the year

the first of the year

(14)

Handwritten text in cursive script, first line.

Handwritten text in cursive script, second line.

Handwritten text in cursive script, third line.

Handwritten text in cursive script, fourth line.

Handwritten text in cursive script, fifth line.

Handwritten text in cursive script, sixth line.

Handwritten text in cursive script, seventh line.

Handwritten text in cursive script, eighth line.

Handwritten text in cursive script, ninth line.

Handwritten text in cursive script, tenth line.

Handwritten text in cursive script, eleventh line.

Handwritten text in cursive script, twelfth line.

Handwritten text in cursive script, thirteenth line.

Handwritten text on the left side of the page, possibly a list or notes.

Handwritten text in the middle-left section, appearing as a list of items.

Handwritten text in the middle-right section, possibly a list or notes.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a list or notes.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a list or notes.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a list or notes.

301
10

昭和十年二月二十五日印刷 定價金貳圓參拾錢
昭和十年二月二十日發行
東京市下谷區中區町七二 武田書局發行
代售處 武田書局
發行所 武田書局
印刷人 武田書局
五卷全集
(本配回四第)
(一)集古今戶關

終

